

授業計画（テキスト、教材・学習材、学習プリント、評価等）の整備にデジタルアーカイブミニ（DAM）の利用について

齋藤 陽子、松川 禮子、横山 隆光、久世 均、菊池 真也、眞喜志 悦子（岐阜女子大学）

1. 図書・教育資料等の保管を使って授業の計画

一般に授業を記述するときを考えてみる。

①資料の収集

図書・資料集、教材室や自分の本棚等から授業目標（教育目標）に対応した図書・資料、教材等を集め、小さな本棚に並べ不足資料を追加する。

②資料の整理

授業の計画に対応して小さな本棚等に整理し、並び換えをしている。このとき教師は、学習内容に関する資料の他に、学習指導法や実践研究資料等も整理し、指導計画を立てる準備をする。

③授業の計画

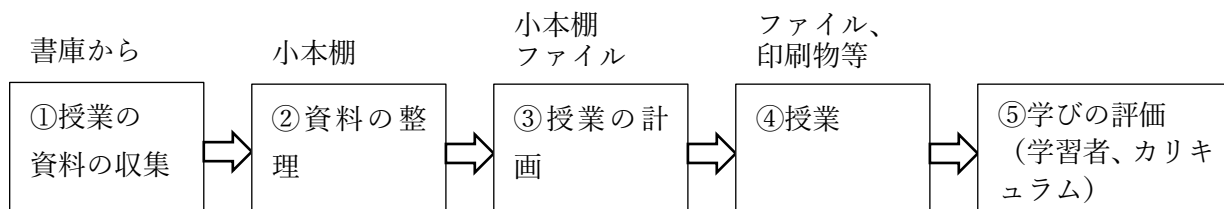
これらの資料を用いて、テキスト・学習プリント、教材・学習材集、プレゼン、評価問題（形成的評価、総括的評価、診断的評価等）、評価結果の指導資料（学習材…個人指導資料）などを必要に応じて準備する。

④授業

教師の指導（レクチャー）、協働学習、主体的な学習、練習……

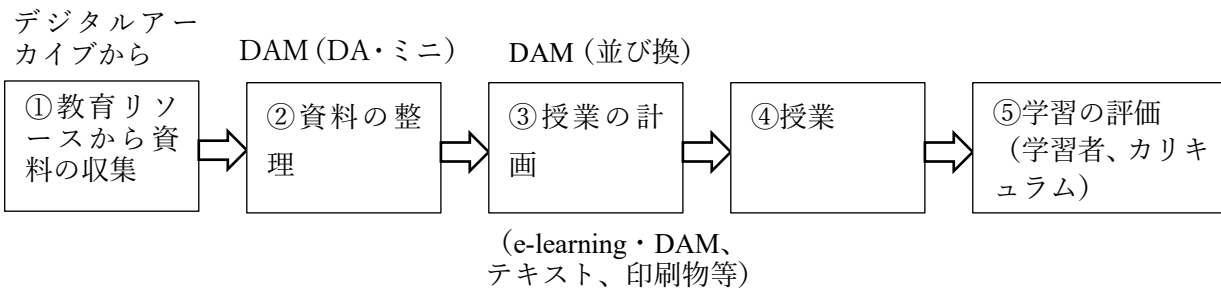
⑤学びの評価（学習指導、カリキュラム改善）

評価資料③を使い、学びの状態、カリキュラム評価、教師の指導力の評価（授業分析）などから、次の学習指導の改善へと発展させる。



2. デジタルアーカイブ・ミニ（DAM）等の利用

DX、メタバースを使った授業（学習指導計画）を実施するためには、その情報基盤として、教育リソース（デジタルアーカイブ）の整備が必要です。この教育リソース（デジタルアーカイブ）を用いて、次のような授業計画・実施・評価を小本棚、ファイル対応としてデジタルアーカイブ・ミニ（DAM）を用いて実施する。



①教育リソース（デジタルアーカイブ）から資料（デジタルコンテンツ）の収集

授業（または単元、1科目等）の教育目標に対応した資料を検索、抽出し、不足項目を再調査、または他の資料を用いてデジタルアーカイブ・ミニ（DAM）に保管する。

②資料の整理

授業の計画に対応し、資料（デジタルコンテンツ）を整理（学びに適する資料を選定）し、学びの順序で並び換え（配列）する（教科の学びの順序や授業での順序で配列）。また、学習材、評価、素材等は順序の枠外に整理し記録する。

	第1時	第2時	・・・	第14時	第15時
学びの	1	1		1	1
資料	2	2		2	2
	3	3		3	3
	4	4		4	4
	5	5		5	5
補助資	・	・		・	・
料	・	・		・	・

（参考）

③授業の計画

②で整理された資料を用いて、説明、提示、協働学習、主体的な学習、作業、評価等を学びの順序で配列する。また、この学びに必要な補完資料等を一連の授業の後に記録し、学習者が必要に応じて利用できるようにする。

⇒e-learning への発展（授業ファイルで配列された資料や評価を使い e-learning を開発）

⇒テキストの作成（学びの順序での資料等の配列や、補完資料、評価等でテキストを作成）

④授業（学修）

対面授業での DAM の利用、e-learning、およびテキスト等を用いて学修

⑤学びの評価

評価と個人指導（個に適した学習材等の提供、学びの支援）、カリキュラムの評価と改善を、一連の処理として結びつけて実施する。

このようなカリキュラムの開発、DAM の作成、e-learning の開発、テキストの作成等には、その基礎資料を保管するデジタルアーカイブまたはデジタルアーカイブ・ミニが必要である。それらを用いて、DX、メタバースで教員等の協働作業・開発室や、図書館に相当するデジタルアーカイブ等の整備・充実が重要である。

（資料提供 後藤忠彦）